

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社エスアイズコーポレーション

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念は常に社員の見える位置に掲示し、また電子情報としてもすぐにアクセスできるように管理運用している。									8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		健康食品等を扱うため、薬事法との関係性を社員に徹底し、接客時に不確実な表現等を排除するように、毎朝礼時に共有し指導している																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		販売する商品は、仕入れ先を必ず確認し、有機JAS認定をクリアした物を扱うことと、産地偽装等の不正に関与しない方針を掲げ、仕入れ担当社員とも共有している。										10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		仕入れ担当を専任し、環境に配慮した、フェアトレードに配慮した商品の仕入れを行うための体制を整備している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		取引先が利用しているロゴやキャラクター使用については、必ず使用許可を確認し、契約書を作成し、著作権の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		顧客の個人情報は、鍵のかかるロッカーに保管し、ロッカーのカギは責任者一人が管理している。また、個人情報の取扱者を一人に限定している。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		月一回の食品等の仕入れの際に、取引先等と他所で事故やアレルギー反応が発生したなどの情報交換を行い、消費者への悪影響を未然に防ぐための対応に取り組んでいる。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●										9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者候補者に事業承継を始めており、現場での運営は任せている。							8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		フェアトレード商品を取り扱う業者を選定し、積極的に調達し、販売している。	1	2		5			8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社員と個別に話す機会を毎月作り、各種差別やハラスメントを未然に把握し防ぐ体制を整えている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		ネイル等で使用する薬剤などは使用方法・管理を徹底し、使用時は手袋やゴーグルなどの着用を義務化し、事故を未然に防ぐ環境を整備している。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態に関わらず、成果連動給を取り入れ、同一の賃金規定で対応している。				5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		サロンのオープン時間を短縮することで、長時間労働できない仕組みを作り、全従業員のワークライフバランスが実現できるように店舗運営している。			3	5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		資格等の取得に関しては、年に1回、募集の期間を設け、会社として受講費の負担と、受講日の休暇を付与する体制を作り、教育訓練の機会を提供している。			4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		自社で取り扱う健康食品や健康ドリンクを、社員用にいつでも飲食できるようにスタッフルーム内に準備し、健康維持と生産性の向上に取り組んでいる。また、社員の健康診断受診を推奨し、費用を会社負担している。			3				8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		子育て中の社員でも仕事と家庭を両立しやすいように、サロンの終了時間を早め、十分に活躍できる環境整備をしている。			4.4 5.1 5.5				8.5 10.2 10.3										16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		社内では時差出勤を取り入れている。また取引先との商談等はほとんどウェブ会議システムを取り入れている。			3				8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●					3	4				8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●										8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社エスアイズコーポレーション

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質等の適切な管理のため、産業廃棄物業者に依頼し、適切な処理に取り組んでいる。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1	
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社用車をガソリン車からハイブリット車に変更し、エネルギー使用量削減に取り組んでいる。今後の社用車買替もエネルギー使用量削減を目指した選択をする。【予定】2023年12月までに簡易計算シートを使用しエネルギー使用量の把握に取り組む。						7.3							13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		自社の制服を作ることでクールビズを推進し、エアコン使用量を減らすことでの温室内効果ガスの削減に取り組んでいる。【予定】2023年12月までに簡易計算シートを使用し温室効果ガスの排出量の把握に取り組む。		2.4				7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		社内で使用する洗剤等は生態系への影響を抑えた自然由来成分の物を使用し、自然への悪影響を抑えるよう配慮している					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		業務で使用するおしぶりは、使い捨ての物を使用せず、回収再利用するおしぶりにしている。また、名刺・パンフレット等をバナーペーパーで作成している。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社員が使用する社内の給湯室に節水シールを貼り、節水意識の向上に取り組んでいる。また、エコバルブを取り付け、確実な節水に取り組んでいる。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		自社で取り扱う商品は、環境負荷の低いものを厳選し、お客様にご提供している。有機JASマーク、FSCマーク、エコマーク、再生紙使用(R)マーク等の環境認証ラベルのある製品を購入し、サステナブル素材を用いた制服を着用している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		会合等参加の際は食べきり運動を推進し、食品ロスの削減意識の向上に取り組んでいる。	1	2			6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		店内に多くの観葉植物等を設置し、緑の創出に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促している。	●									9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社エスアイズコーポレーション

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		業務上使用する薬剤等は管理簿で適切な管理をし、品質劣化や安全な使用に対応できる仕組みを構築している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		店内は段差を無くしている。また、お客様が利用するトイレなど店内の主要部には手すりを設置し、誰もが利用しやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		自社で販売する商品は、熊本県内の商品を取り扱い、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		商工会議所青年部、青年会議所に所属し、役員を務め、日々地域貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		年に1回、防災士の指導を受けている。また、青年会議所でレジリエンス委員会に所属し防災意識の向上に取り組んでいる。				4							11.5		13.1				16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		社員に地域消防団への入団を進めている。また、社内に看護師が常駐しており、救助救急対応できるような体制を整えている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		年に1回、SDGs理解促進のための研修に、社員の参加を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場見学授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●					4						8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。